

TR-IT-0346

## ATR-MATRIX の音声入力

松田 猛†                  西野 敦士                  横尾 昭男  
Takeshi MATSUDA† Atsushi NISHINO Akio YOKOO

2000.2.2

### 内容概要

音声翻訳システム (ATR-MATRIX) に必要な音声入力について、ハードウェア構成と音声データの流れについて説明する。

エイ・ティ・アール音声翻訳通信研究所

ATR Interpreting Telecommunications Research Laboratories

©エイ・ティ・アール音声翻訳通信研究所 2000

©2000 by ATR Interpreting Telecommunications Research Laboratories

目次

準備.....	3
肉声による音声認識.....	3
テープからの音声認識.....	3
音声入力のしくみ.....	4
図1：ハードウェア構成.....	4
図2：ソフトウェア構成.....	5

## 準備

ATR-MATRIX への音声入力には S P R E C モジュールが行い、次の 2 種類の音声入力方法があります。

- 肉声による音声認識
- テープからの音声認識

上記方法の違いにより、ATR-MATRIX に必要な音声入力のハードウェア構成が多少変わります。

### 肉声による音声認識

- ハードウェア： Datlink+  
DAT ウォークマン/DAT デッキ  
SCSI ケーブル (Datlink+, PC 接続用)  
光ケーブル/キャノンケーブルなど (Datlink+, DAT デッキ  
/DAT ウォークマン接続用)  
マイク、(必要ならばマイクアンプ)
- ソフトウェア： Datlink+用デバイスドライバ  
(Datlink+用デバイスの作成の仕方は Datlink+マニュアルを  
参照してください。)

### テープからの音声認識

- ハードウェア： Datlink+  
DAT ウォークマン/DAT デッキ  
SCSI ケーブル (Datlink+, PC 接続用)  
光ケーブル/キャノンケーブルなど (Datlink+, DAT デッキ  
/DAT ウォークマン接続用)  
音声テープ
- ソフトウェア： ※肉声による音声認識に同じ

## 音声入力のしくみ

ATR-MATRIXでは音声入力に、Datlink+ を使用します。音声データは、以下のハードウェア、ソフトウェア間を流れます。

図1：ハードウェア構成

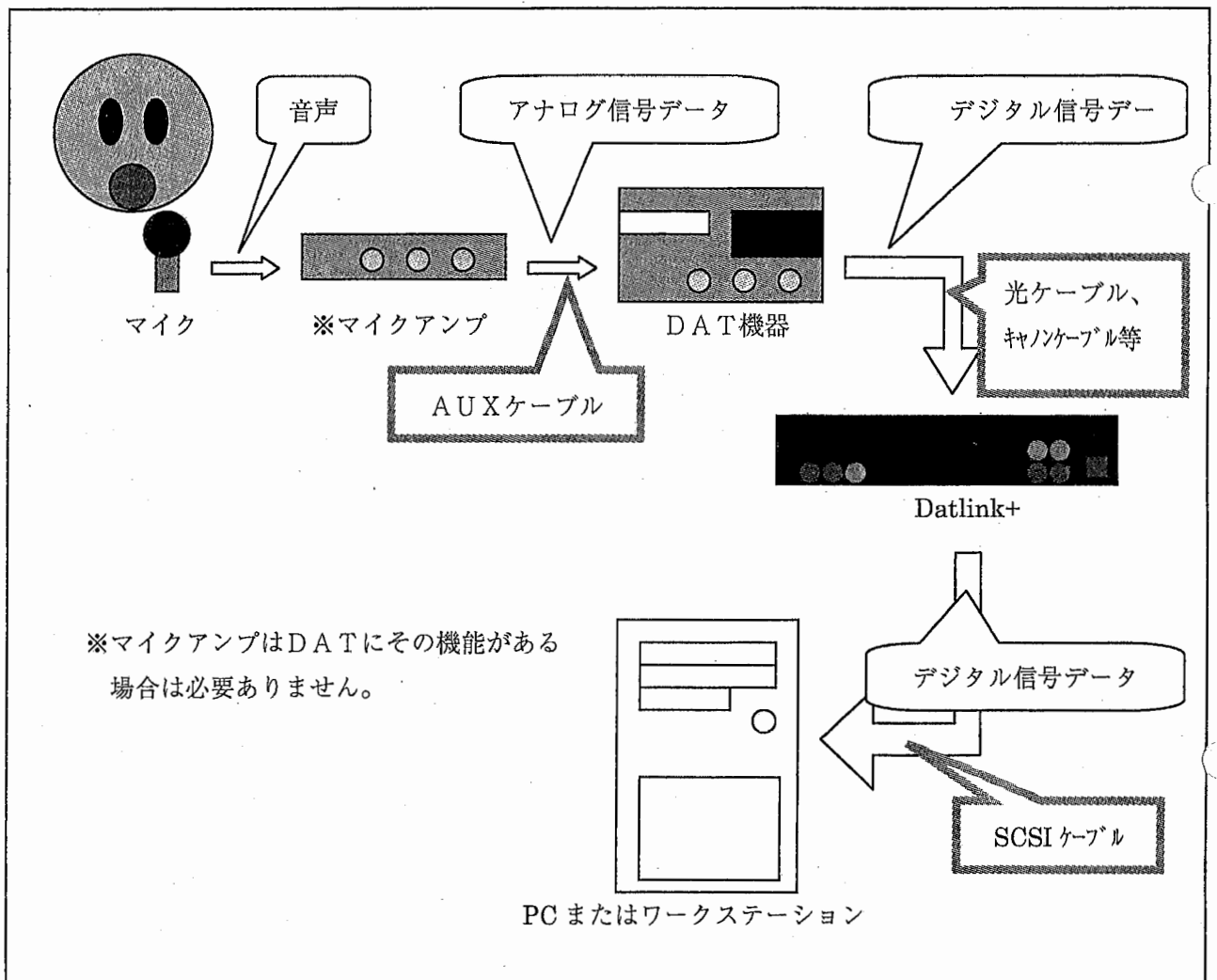


図2：ソフトウェア構成

